

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.19(2022年5月発行)



埼玉県戸田市議会

戸田の会

のざわしげまさ
野澤茂雅

さとうたかのぶ
佐藤太信

あそがかずひで
浅生和英

さかいいくろう
酒井郁郎

みやうちそうこ
宮内奏子

やざわはるか
矢沢青河

ウクライナ侵略が戦争の恐ろしさを見せつけています。身勝手な理由で隣国を攻撃し、民間人を含む多くの命を奪った今回の戦争。ロシア・中国・北朝鮮と隣り合う日本にとってはまさに「明日はわが身」です。国においては防衛戦略の見直し、戸田市においては有事における行動計画の見直しや訓練の実施など、幅広い対応が必要になると考えられます。

さて、「戸田の会」の新たな試みとして、公共施設のリニューアルを検証する新たな研究班を会派内に立ち上げます。川岸において大型倉庫が住宅街に計画されるようなことになり、まちづくりへの取り組みを真剣に考え直さなくてはならないという危機感が出発点になりました。今後、10年、20年というスパンで街の価値を高めるための方法を検討していく計画です。

今号では、これら2つの重要な課題について記事を掲載しています。皆さんの声をお待ちしています。

日本が攻撃を受けたときの備えは？

有事の避難行動について、「戸田市国民保護計画」が3月に変更されました。武力攻撃(着上陸侵攻、特殊部隊攻撃、弾道ミサイル攻撃、航空攻撃など)に関する情報や、住民への避難周知等が追加され、昨今のウクライナ危機に呼応するように緊急事態が身近なものであると実感します。

ただし、日本の国民保護では、避難・訓練・シミュレーション・防衛等の指針や行動計画が具体的に示されているわけでは無く、人口あたりの核シェルター普及率を見ても、スイス・イスラエルが100%、アメリカが82%であるところ、日本は0.02%に過ぎません。

この驚くべき数字の格差の裏には、武力攻撃に対する日本の歴史上・地理上の経緯や、国民性が関与しているのかも知れませんが、ウクライナの現状を垣間見るにつけ、今こそ私たち日本人も大きな危機意識を持たなくてはいけないと感じています。そこで戸田の会は、下記をはじめ、戸田市における武力攻撃への備えについて、話し合いや提言をしていきたいと考えています。

- シェルター・地下避難所の設置推進や避難場所の指定
- ガスマスク等、軍事物資の備蓄
- 民間防衛(国民保護)計画・避難計画の策定
- 訓練の実施 など





酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学
医学部卒業・修了、
マッキンゼー(経営
コンサルタント)、
㈱ポピンズ(保育)、
医学教育事業

小中学校の保護者負担 が重すぎる！

制服、教材費、給食費...義務教育なのに小中学校にかかる費用が重すぎるという声があります。理想を言えば、子育ての経費を全て無料にし、少子化を食い止めるべきと考えます。前回、予算の組み替えにより給食費を1万円下げる提案しましたが、今回は①購入品目を減らす②価格を下げる、指定店を拡大③メルカリなどフリマ利用、などにより保護者負担を抑える提案をしました。今後は各校任せではなく、教育委が主導し取り組むべきと考えます。

小中学校のコロナ対策 は不十分！

コロナ第6波がなかなか収まりません。原因の1つが小中学校での感染です。戸田市においても多くの保護者は学校でコロナが流行っていることを知っています。ところが教育委は現在まで、学校でコロナ感染が起こっていることを認めていません。まずは学校での感染発生を認めた上で、①検査対象の拡大(感染者周囲の席の子供のPCR検査)②感染状況の情報提供などを行うべきではないでしょうか。保護者の皆様のご意見をぜひお聞かせください。

市民負担とならない稼 げる公共施設の整備を！

【背景】公共施設の長寿命化は、多様化する市民ニーズに対応出来ないばかりか、頻繁な修繕がコスト増に繋がることもある。将来を見据え、建替えを含めた計画見直しが必要である。

浅生 ①市の公共施設全体の整備方針は。②新競技や障害スポーツ、400mトラック対応など戸田市スポーツセンターの建替えを。③北部球場の整備を。④彩湖・道満グリーンパークの収益性の向上を。⑤みどりパルにミニ動物園の設置を。

企画財政部 ①長寿命化に重きを置いて取り組んできた。今後は市民ニーズを捉え、どうあるべきか見極めが重要である。

市民生活部 ②市民ニーズを的確に捉え検討していく。

環境経済部 ③野球を含む様々なスポーツやイベント等に利活用する検討を進め、公園の新たな賑わいや収益性向上に努めていく。④アイデアを生かし、賑わい創出と収益性の向上を図っていく。

教育委員会 ⑤場所の確保ができないので設置は困難である。



浅生和英

幹事長・無所属・2期
【経歴】法政大学
卒業、山一証券、
美容室VASE
【資格】社会福祉士
精神保健福祉士
美容師、防災士、
4級アマチュア無線技士



佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、
大正大学院卒業・
修了、東京電力㈱、
児童福祉施設乳幼
児教育相談、スク
ールカウンセラー
【資格】臨床心理士

多様な生涯学習 メニューを！

佐藤 学び直すことを目的とした「リカレント教育」、市民意識調査からは20~30代の若年層が学びの意欲が高い。人生100年時代の中で生きる希望や楽しみが実感でき、そのきっかけづくりとなる生涯学習の推進が必要と考える。①デジタル化に伴い、パソコンが苦手な方へのサポートは。②市民が講座を企画したい場合の手続きは。③子育て支援への配慮は。④障がい者等への配慮は。



教育委員会 ①オンライン受講へのサポートは、生涯学習課で相談に応じている。

②提案から企画・開催まで市民と共に学が取組みを進める市民企画講座がある。

③託児サービスを含め、支援の充実策を検討する。④オンライン開催により、重度の障害者や人前に出るのが苦手な方などにも自宅で受講できる環境を整え、また講座の一部に手話通訳、啓発チラシには文字や色のバリアフリー、ルビや音声コードをつけるなどの工夫を行っている。

市民企画講座の
アイデアを募集しています
—令和4年度 市民企画講座—

市民企画講座とは、みなさんのアイデアを募集し、市民の力で講座を開催し、学びの機会を創出するものです。市民企画講座の募集期間は、令和4年10月1日(土)から令和4年11月30日(木)までです。

スケジュール

市民企画講座



やざわはるか 矢沢青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】鹿児島大学卒業、FM放送局、埼玉県議秘書7年(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第七分団)、防災士

積極的な公民連携を！

【背景】日本の業務委託の多くは、行政の指示通りに業務を行う「仕様発注方式」。一方、欧米は、成果を重視し具体的な手法を民間の自由裁量に委ねる「性能発注方式」が主流。「仕様発注」は、安定性がある反面、民間の創意工夫を活かしづらく、「前例踏襲で見直されない事業」、「成果に直結しない仕様書」を生むこともある。

矢沢 官民連携を推進し、自治体と民間でギブ&テイクを成立させるためには、

- ①地域資源・人材の把握とマッチング
- ②新たな手法の導入や効果検証が重要。

横瀬町「よこらぼ」では、市の遊休資産等を活用し、民間主導のプロジェクトを応援している。民間のプラットフォーム「自治体コネクト」に登録すれば、全国の企業へ情報発信できる。さらに他自治体では、ソーシャルインパクトボンド(SIB)や成果連動型民間委託契約方式(PFS)など、民間ノウハウを活かせる新たな委託を導入している。戸田市でも積極的な公民連携を！

企画財政部 本市の現状を踏まえ、新たな委託を含め、効果的な手法を検討する。



スクールゾーン規制道路 侵入前に看板標示を！

野澤 スクールゾーンの設定基準は。

都市整備部 文科省計画に基づき、小学校や幼稚園などを中心に周囲500mの範囲で設定する。

野澤 明確な区域を指定するものではないが、運転手の注意喚起や交通安全対策の一助となるためのものと理解する。



野澤 スクールゾーンの中に多く設定されている「時間帯通行規制道路」は、進入する前の道路に規制注意の標示が無いことがあり思わず進入してしまう。進入前に規制を知らせることはできないか。

都市整備部 警察の規制標識が分かりにくい箇所は、現地の状況を確認し啓発看板設置を検討する。

野澤 時間帯通行規制道路での取締りは。

都市整備部 違反車両が多く見受けられる箇所については、取り締まりの強化を警察に依頼していく。

野澤 子ども達の安全のために、スクールゾーンの正しい理解と的確な案内標示を。



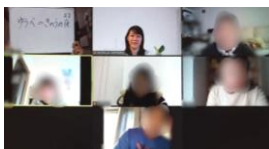
のざわしげまさ 野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中PTA会長、町会副会長

多文化共生の推進を！

宮内 国際化が進む中、地域社会においても日本人と外国人が共に文化の違いや多様な価値観を認め合い、互いに尊重して暮らすことが重要である。本市における多文化共生推進への取り組みは？

市民生活部 市と国際交流協会が中心となり、多文化共生に向けた地域づくりを進めている。市民への意識啓発や、国際交流イベントの内容や周知方法を工夫し、外国人への支援の充実に努めていく。



▲生徒さんと日本語教室

子供たちが多文化や多様性を認め合う教育を！

宮内 グローバル化が急速に進む中、子供たちが義務教育の中で国際性を身に付けていくことはますます重要である。本市の小中学校での英語教育は？

教育委員会 小中学校9年間の一貫した英語教育を通して、互いの気持ちや考えを英語で伝え合い、豊かな国際性を身に付ける子供の育成を目指している。さらに、市独自のセサミストリート・カリキュラム導入やすべての小中学校に毎日ALTを配置するなど、国際理解教育を進めている。



みやうちそうこ 宮内奏子

無所属・1期
【経歴】慶應大学文学部英米文学科卒業、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後独立
【資格】英検1級、TOEIC970点

代表質問 コロナ禍、柔軟な対処を！



市長は翌年度の施政方針を発表します。それへの対案をぶつけるのが総括質問の醍醐味。戸田の会は、ウクライナ侵略やコロナ等、環境変化へ柔軟に対処する一方、従来からの課題への着実な取り組みを強く求めました。

- **ワクチン**…国における3回目接種の判断の遅れが指摘された。迅速な接種と、5～11才の子供への接種については十分な説明を
- **配偶者暴力、児童虐待**…コロナ禍での急増が社会問題に。「配偶者暴力相談支援センター」の十分な活用や、警察等との連携強化を
- **不登校**…相談体制の強化や、PC一人一台体制を活用した自宅学習による対応を
- **健康づくり**…医療データを活用した健康増進・衰え防止「データヘルス計画」の推進を
- **公園リニューアル**…子供だけでなく、すべての世代に魅力ある公園づくりを
- **企業育成**…公共工事について、発注時期の平準化、分割工事など、コストを抑えつつ地元企業の参入を促し、地元企業の育成を
- **産業振興**…ポストコロナ、SDGs、DXなどへの対応が必要。成長分野に特化した費用対効果の上がる支援策を
- **地域**…地域の民間資源を活用し、コロナで損なわれた地域コミュニティの再生を

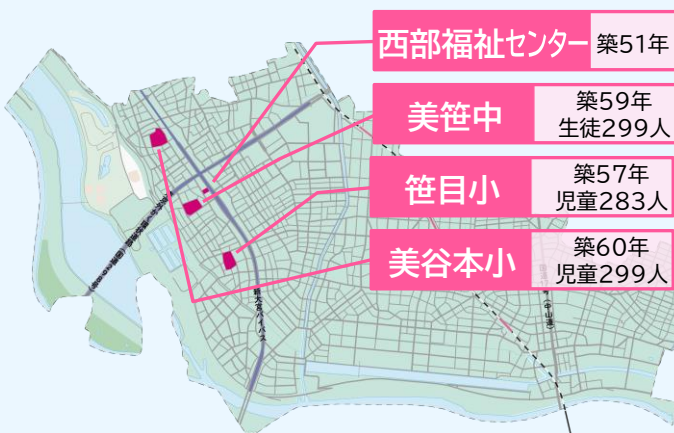
100年に一度のチャンス！！戸田市西部のまちづくり

～戸田の会は、公共施設のリニューアルを検証する研究班を立ち上げました～

戸田市西部の美笹地区では、間もなく4つの公共施設が同時期に建て替えを迎えます。このままいけば、従来と同じような建物が同じ場所に新築される可能性が大。

その一方で、建て替えに合わせて時代に合った施設、地域に広く活用される施設を作り、大いに街を発展させた例も各地に見られます。例えば、小中一貫校の設置による教育水準の向上、地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設など、コミュニティの核となるような施設にできるとすればどうでしょう？

戸田の会では、できる限り多くの声を集めながら、各地の事例を研究し、提言を行いたいと考えています。是非ご注目ください。



- ☞ もうすぐ建て替え時期(築60年前後)
- ☞ 比較的、小規模校(施設の自由度が高い)

～戸田の会は、引き続きモニターさんを募集しています～

あなたの声
が戸田を変える！

戸田の会モニター募集！

- ◆ 年に数回程度、短いアンケートにお答えください。
- ◆ ご依頼はメールでお知らせし、スマホ等でお答えください。
- ◆ 回答は義務ではありません。可能な範囲でお答えください。

- ① ホームページ todanokai.com
- ② メール info@todanokai.com
- ③ 電話・FAX 048(871)6391
- ④ 郵送 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

